

- 業務用としてご使用にならないでください。
- 他の用途でご使用にならないでください。
思わぬ事故の原因になります。

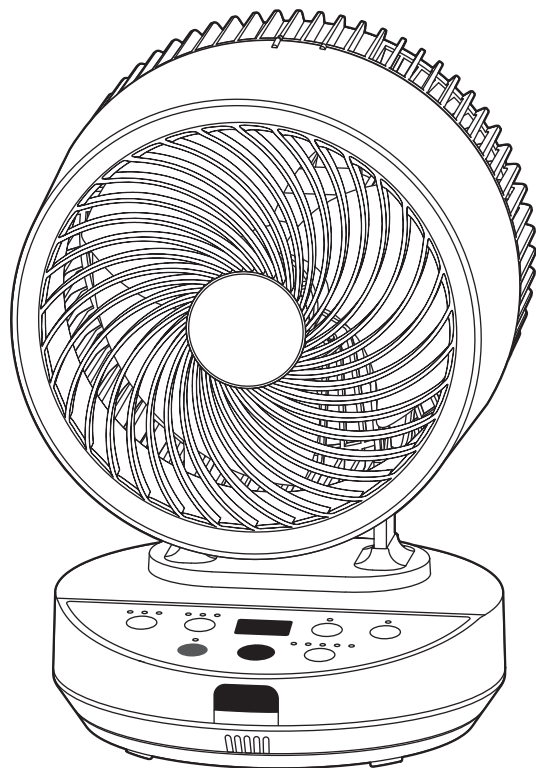
DCエアーサーキュレーター 熱中症警戒機能付

YAR-WED181

(ワイヤレスフルリモコン)

目 次

■安全上のご注意	1~3
■各部の名称	4
■操作部と表示部の名称	5
■リモコンの準備	6
■使いかた	
●設置場所について	7
●電源プラグを家庭用コンセントに差し込む	7
●運転する(熱中症警戒運転)	8~11
●風量を設定する	11
●上下自動首振り運転を設定する	12
●左右自動首振り運転を設定する	12
●上下左右自動首振り運転を設定する	13
●切タイマーを設定する	13
●温度を設定する(温度センサー運転)	14~15
●使用後は	16
■お手入れと保管	16~20
■仕様	21
■故障かな?と思ったら	21
■長期使用製品についてのご注意	22
■アフターサービスについて	22
■保証書	裏表紙



この商品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社サーキュレーターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



①記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。



警告



分解、修理、改造をしない

- けが・感電・火災の原因になります。
- ※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止



禁止

家庭用コンセント (AC 100V) 以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセントが異常発熱して、火災の原因になります。
- また、インバーター電源などを使用すると誤作動することがあります。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

- 発熱・感電・火災の原因になります。

指示に従う



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。



定期的に電源プラグのほこりをふき取る

- 電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎電源プラグのほこりは、乾いたふきんでふき取る。
- ◎長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

指示に従う



禁止

電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎結束バンドは、必ずはずす。



異臭、異常、故障、破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- けが・感電・火災の原因になります。
- ※異常・故障例
22ページの「長期使用製品についてのご注意」を参照し、異常があるときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

指示に従う



禁止

電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない

- ショート・感電・火災の原因になります。















ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ショート・感電の原因になります。

⚠ 警告

 <p>お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く ●けが・ショート・感電の原因になります。</p> <p>プラグを抜く</p>	 <p>取りはずしや組み立てのときに、電源プラグをコンセントに差し込まない ●意図せず運転して、破損・けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>組み立ては、確実におこなう ●運転中に部品がはずれたり、落下するなどして、破損・けがの原因になります。</p> <p>指示に従う</p>	 <p>浴室など湿気の多い場所、雨や水のかかる場所で使用しない ●ショート・感電・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>可燃性ガスや引火性のもの（ガソリンやシンナーなど）がある場所で使用しない ●爆発・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>ガードの中、可動部、すき間に指や棒などを入れない ●指を挟んだり、回転部に触れてけがの原因になります。 ◎特にお子さまには、注意する。</p> <p>禁止</p>
 <p>お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない ●けが・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>風を燃焼器具（ストーブなど）に向けて使用しない ●炎の飛散や不完全燃焼などがおき、健康を害したり、火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>すき間や開口部にピンや針金など金属物や異物を入れない ●ショート・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>ガードやモーター部に布などをかけたり、かぶせてふさぐなどして使用しない ●モーターの過熱・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない ●ショート・感電・火災の原因になります。</p> <p>水ぬれ禁止</p>	 <p>包装用ポリ袋は、お子さまの手の届かない場所に保管する ●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして、窒息する原因になります。</p> <p>指示に従う</p>

⚠ 注意

 <p>電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない ●ショート・感電・火災の原因になります。 ◎必ず電源プラグを持って引き抜く。</p> <p>禁止</p>	 <p>次のような場所で使用しない ●変質・変形・感電・火災の原因になります。 ◎火気や熱源（コンロやストーブなど）の近く、直射日光のあたる場所、高温になる場所。 ◎厨房や工場など油や油煙が発生する場所。 ◎ほこりや金属粉の多い場所。</p> <p>禁止</p>
--	---

⚠ 注意



業務用には使用しない

- 無理な負担がかかり、破損・故障の原因になります。

禁止



屋外で使用しない

- 故障・感電・火災の原因になります。

禁止



カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所で使用しない

- カーテンなどが吸い込まれ、破損・故障・けがの原因になります。
- 不安定な場所に設置すると、転倒や落下して、破損・故障・けがの原因になります。

禁止



犬や猫などがいる部屋で使用するときは、十分注意する

指示に従う

- 本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。



運転中のガードに頭髮や衣類(ひも類)を近づけない

- 頭髮や衣類が巻き込まれ、破損・故障・けがの原因になります。

禁止



風を直接身体に長時間あてない

- 本製品は、サーキュレーターです。風を直接身体に長時間あてると、体調悪化や健康を害する原因になります。

禁止



熱中症警戒運転や温度センサー運転を設定しているときは、ガードや羽根に触らない

- 急に運転が開始して、けがの原因になります。

禁止

※就寝時に熱中症警戒運転や温度センサー運転をするときは、特に注意してください。



サーキュレーターを移動するときは、次のことに注意する

指示に従う

- 設置場所が傷ついたり、故障・ショート・火災の原因になります。
- ◎ 運転中に移動させない。移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
- ◎ 電源コードを持ってサーキュレーターを引っ張らない。
- ◎ サーキュレーターを引きずらない。



本体やガードの上に足をのせたり、ものをのせたりしない

- 破損・故障・けがの原因になります。

禁止



手でガードや本体を押さえて、自動首振り運転を停止させない

- 故障の原因になります。

禁止



落としたり、強い衝撃を与えない

- 破損・故障・けがの原因になります。

禁止



運転停止直後にお手入れをしない

- ◎ モーター軸付近が熱くなっていることがあるので注意する。

禁止



お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

- 変色・変質・破損の原因になります。
- ◎ お手入れは、16～20ページの「お手入れと保管」を参照する。

禁止



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

- 変色・変質・破損の原因になります。

禁止



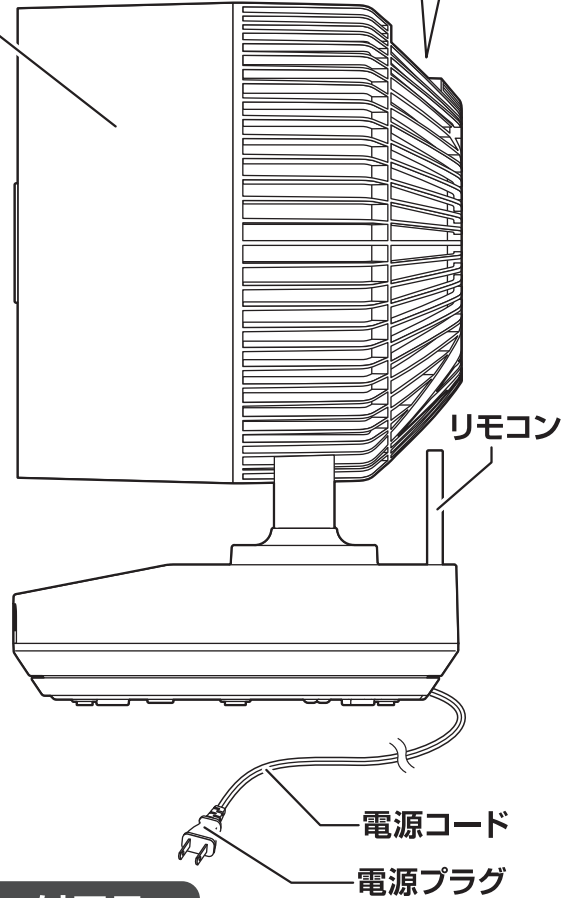
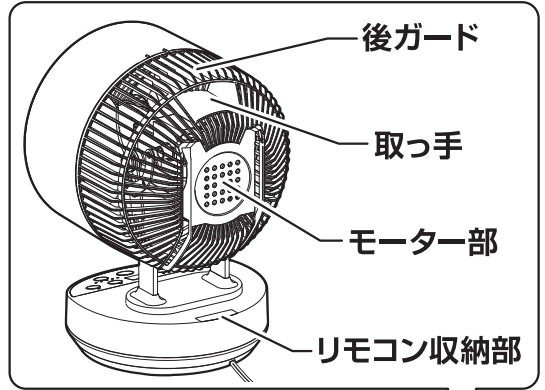
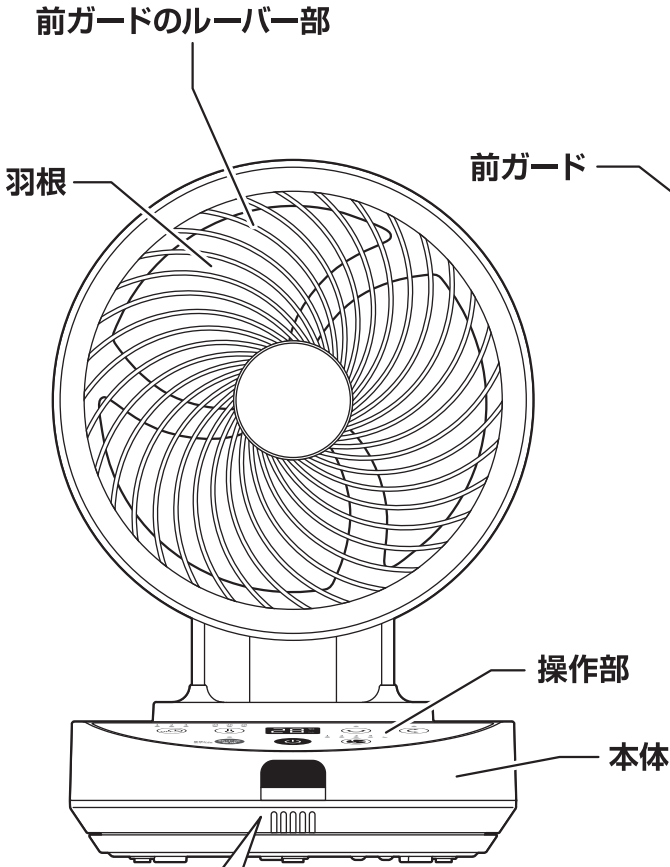
コイン形リチウム電池の取り扱いには、十分注意する

指示に従う

- 傷害・破裂・火災の原因になります。
- ◎ 分解したり、改造をしない。
- ◎ 加熱したり、火の中に入れない。
- ◎ 乳幼児の手の届く場所に置いたり、保管しない。誤飲の原因になります。
- ※ 万一飲み込んだときは、すぐに医師にご相談ください。

各部の名称

本体



リモコン受信部

アラート表示部

熱中症警戒アラートを表示します。

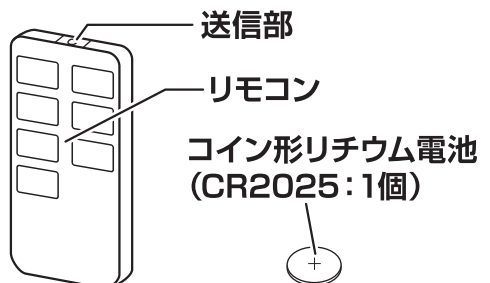
センサー

お知らせ

- センサーをふさいだり、直射日光のあたる場所に設置したり、熱を放出するものを近くに置くと、誤感知の原因になります。

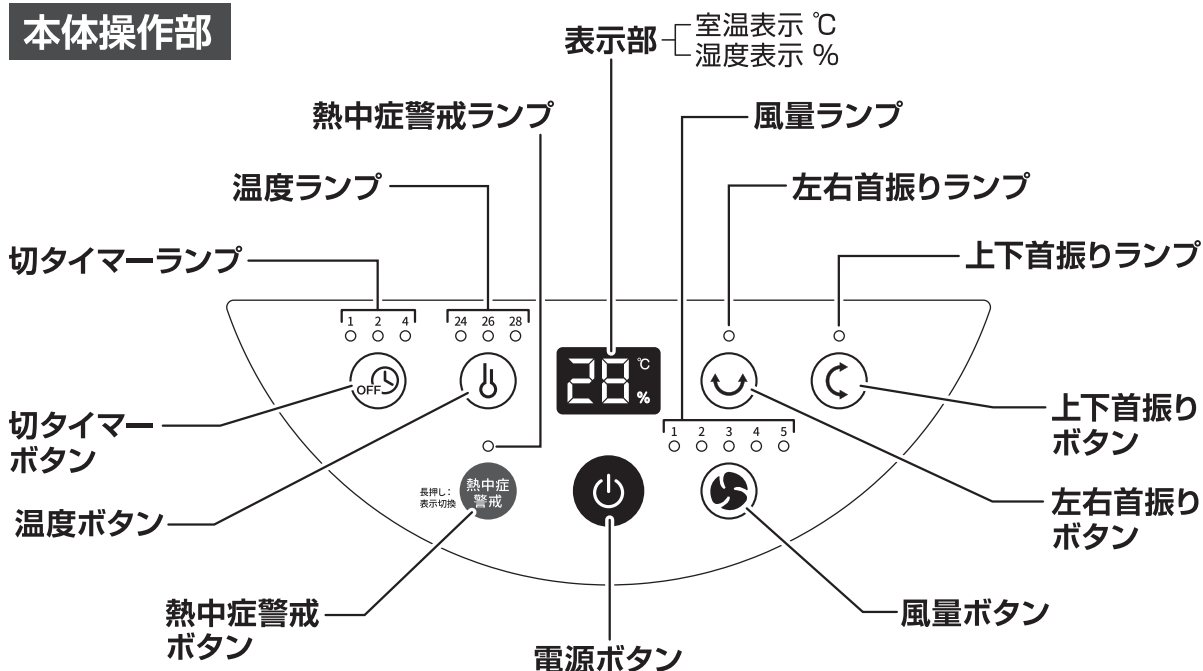
- 本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

付属品



操作部と表示部の名称

本体操作部

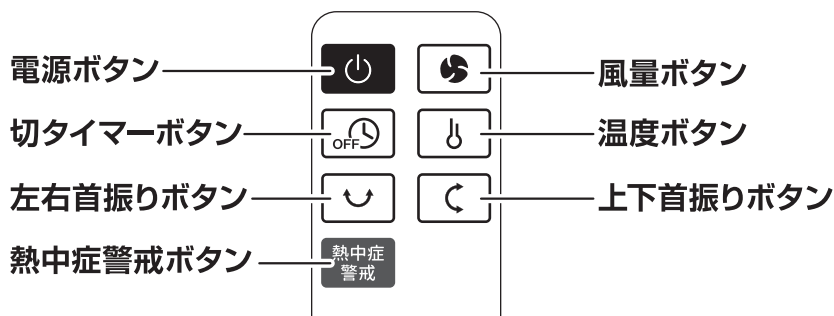


お知らせ

減光仕様について

- 本製品は就寝時での使用も想定し、無操作状態が約10秒つづくとき、表示部とランプが減光する仕様となっております。
減光している状態からいずれかのボタン操作をすると、表示部とランプが明るくなります。
- 本体操作部や表示部の一部が暖かくなることがありますが、故障ではありません。

リモコン操作部



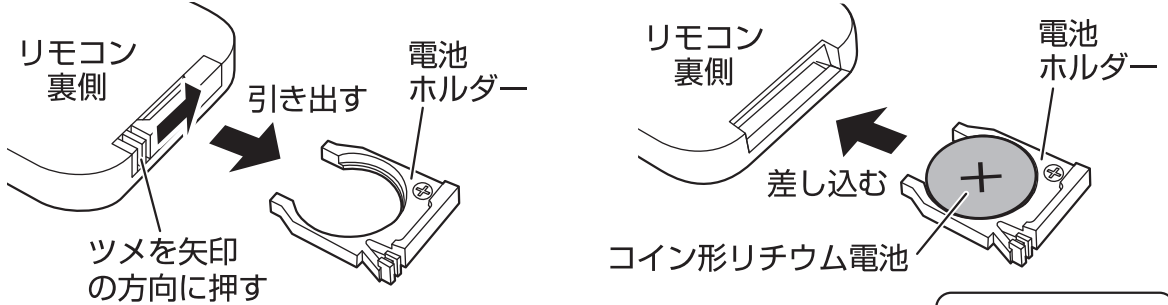
本体、リモコンのボタン操作についてのお願い

※ボタンは、2つ以上同時に押さないでください。

リモコンの準備

コイン形リチウム電池の入れかた

- 電池ホルダーのツメを矢印の方向に押しながら、電池ホルダーを引き出します。
- 電池の+側を上にして電池ホルダーにのせ、電池ホルダーをリモコンに差し込みます。



- ※付属のコイン形リチウム電池は、テスト用のため早く消耗することがあります。リモコン操作ができなくなったときは、電池を交換してください。
- ※交換用電池は、市販のコイン形リチウム電池 CR2025 1個をお買い求めください。



注意

- ※電池の+と-を間違えないように、正しく入れてください。
- ※損傷（変形や傷）があったり、異物が付着した電池は、使用しないでください。
- ※液漏れしたときは、素手で液に触れないでください。万一触れたときは、水でよく洗い医師にご相談ください。
- ※リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- ※使用済みの電池を廃棄するときは、+と-それぞれの電極にビニルテープを貼って必ず絶縁し、自治体の指導に従って廃棄してください。

操作のしかた

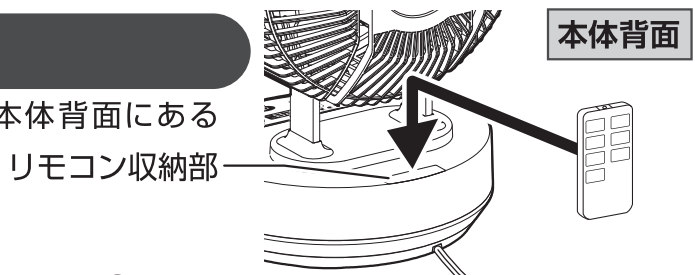
- リモコン送信部をリモコン受信部に向け、ボタンを押して操作します。
- リモコンで操作できる範囲は、約3mです。
- 次のような場所では、リモコンで操作できないことがあります。
 - リモコン送信部とリモコン受信部の間に、障害物（ガードや羽根含む）がある場所。
 - リモコン受信部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たる場所。
 - インバーター照明器具を使用している場所。

注意

- ※リモコンを落としたり、踏んだり、リモコン送信部を傷つけたり、液状のものをかけないでください。リモコンで操作できなくなる原因になります。

リモコンを収納する

- リモコンを使用しないときは、本体背面にあるリモコン収納部に収納します。

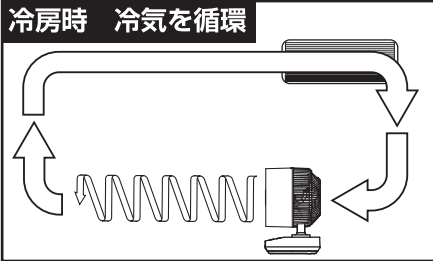


使いかた

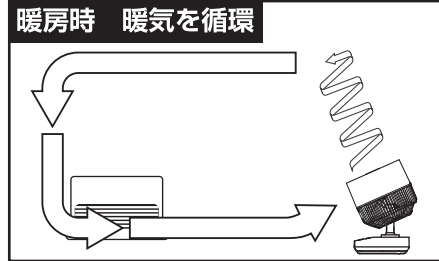
設置場所について

※カーテンなどの障害物がなく、水平な床や机に設置してください。

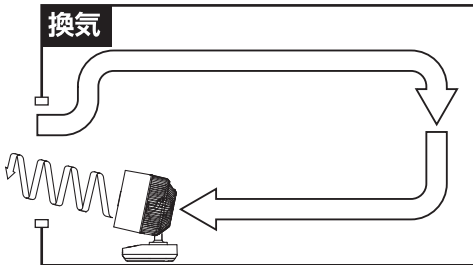
●空気を循環したいときなどに、自動首振り運転を併用すると効果的です。



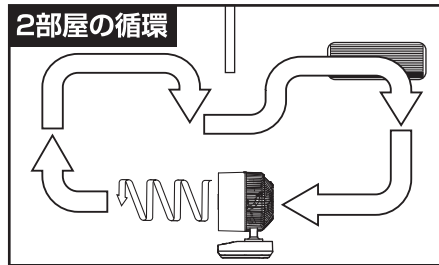
●床にたまりやすい冷気を部屋中に循環させます。



●天井にたまりやすい暖気を部屋中に循環させます。



●窓際に置いて、屋外の空気を取り込んだり、屋内の空気を排出します。



●2部屋の空気を循環させます。

※サーキュレーターを使用するときは、下記に注意してください。

警告



ガードの中、可動部、すき間に指や棒などを入れない
●指を挟んだり、回転部に触れてけがの原因になります。
◎特にお子さまには、注意する。

注意



風を直接身体に長時間あてない
●本製品は、サーキュレーターです。風を直接身体に長時間あてると、体調悪化や健康を害する原因になります。

※就寝時に熱中症警戒運転や温度センサー運転をするときは、特に注意してください。

必ずお守りください

※前ガードを取りはずしての運転は、大変危険ですので絶対におこなわないでください。

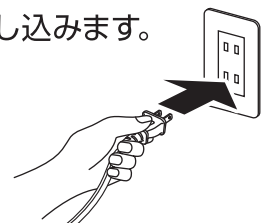
電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込む

●電源プラグを根元まで、確実に家庭用コンセント (AC 100V) に差し込みます。

警告



電源コードをたばねて使用しない
●ショート・感電・火災の原因になります。
◎結束バンドは、必ずはずす。



使いかた

運転する（熱中症警戒運転）

警戒アラートについて

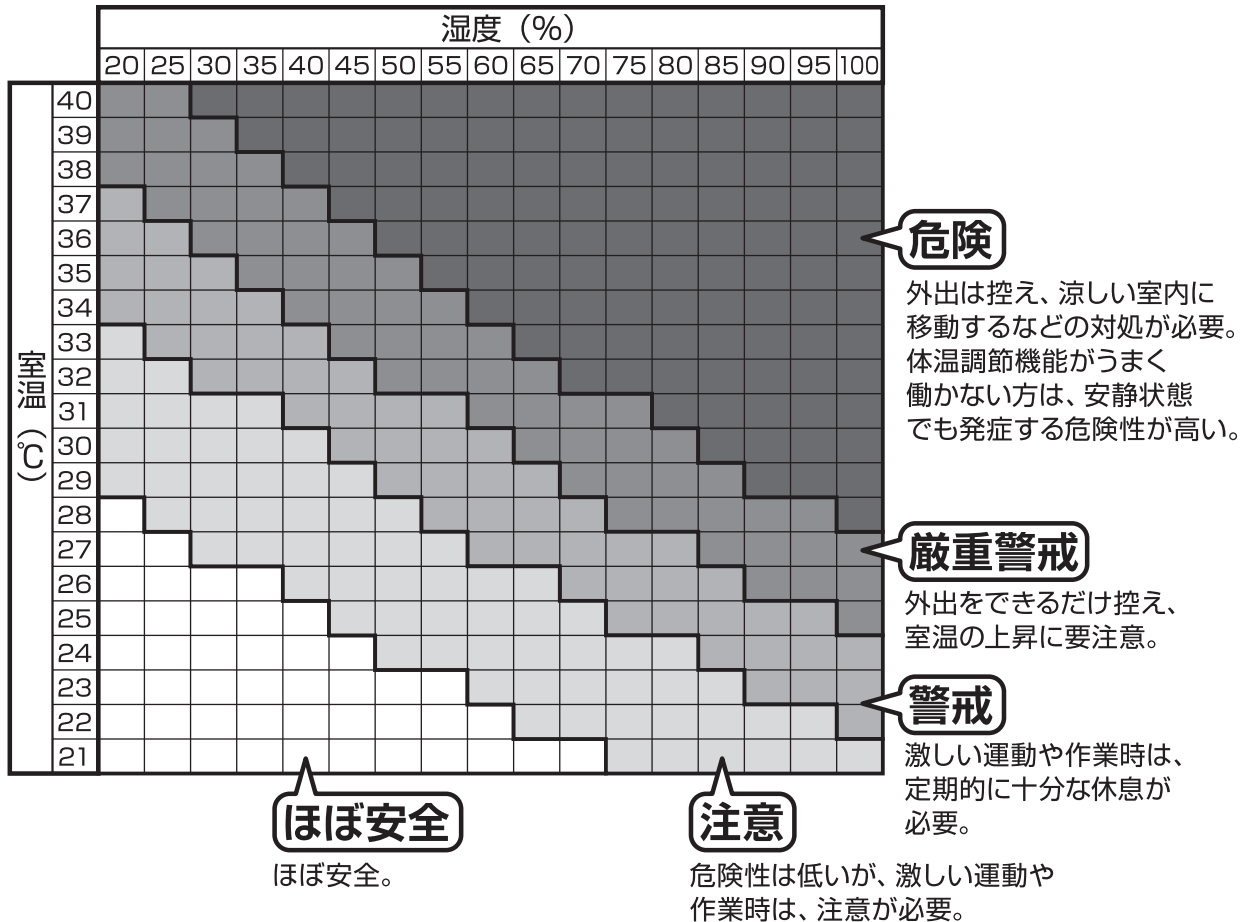
本製品は、暑さ指数（WBGT値）に基づいて、室温と湿度によって熱中症の危険度を判定し、5段階に分けて警戒アラートの表示および運転をおこないます。

- 暑さ指数（WBGT値）とは、熱中症の危険度を判断する指数で気温とは異なり、気温、湿度、日射・輻射熱の3要素を取り入れ、蒸し暑さを1つの単位で総合的に表したものです。

本製品の警戒アラート（危険度）の判定について

- 本製品では、内蔵されたセンサーで感知した室温と湿度によって、熱中症の危険度を判定しています。
- 本製品の警戒アラートは、熱中症の危険度を判定してお知らせしているもので、熱中症の発症を抑止するものではありません。

■ 本製品での警戒アラート（危険度）の範囲と注意点




使いかた

運転する（熱中症警戒運転） つづき



- 電源ボタンを押します。
- 「ピッ」と音が鳴り、熱中症警戒運転が自動的に設定され、風量「1」で運転を開始します。
- もう一度電源ボタンを押すと、運転を停止します。（電源切）
- 運転開始時の各表示は、下記のとおりです。

風量ランプ	熱中症警戒ランプ	表示部	アラート表示
 風量「1」が点灯 (緑色)	 点灯 (赤色)	 電源入時の室温を表示 (室温が28°Cの場合)	 電源入時の 警戒アラートで点灯

電源を入れたときの警戒アラートによる運転について

- 電源を入れたとき、警戒アラートの状態によって、運転内容が異なります。
 - 「ほぼ安全」、「注意」、「警戒」のときは、風量「1」で運転を開始します。
 - 「嚴重警戒」のときは、風量「5」で運転を開始します。
 - 「危険」のときは、風量「5」で上下左右自動首振り運転を開始します。
- 電源を入れた直後は、熱中症危険度の判定に数秒かかり、警戒アラートの表示と運転が遅れることがあります。

お知らせ

- 本製品には本体前面にセンサーが内蔵されています。
センサーをふさいだり、直射日光のあたる場所に設置したり、熱を放出するものを近くに置くと、室温や湿度が正常に感知できなくなり、誤感知する原因になります。

表示部の室温/湿度表示について

- 室温表示や湿度表示は、本体に内蔵されているセンサーが室温や湿度を感知して表示しています。
センサーは、お部屋全体の室温や湿度を感知しているものではなく、本体周辺の室温や湿度を感知して表示しています。
室温や湿度は、場所によって異なり本製品に表示される室温や湿度と、お部屋の温度計や湿度計と異なることがあります。

室温表示と湿度表示のかえかた

長押し：
表示切換

熱中症
警戒



- 運転中に熱中症警戒ボタンを長押しすると、室温と湿度の表示をかえることができます。

28°C



45%

室温表示のときは、
単位が°Cになります。

湿度表示のときは、
単位が%になります。





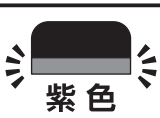
長押しすることに表示が変わります。

使いかた

運転する（熱中症警戒運転） つづき

熱中症警戒運転は、電源を入れると同時に毎回自動的に設定されます。警戒アラートの段階によって、運転内容が変わります。

警戒アラートの段階による運転内容

警戒アラート	アラート表示	アラート音	風量	自動首振り運転 (設定時)
ほぼ安全	 青色 (点灯)	なし	停止※1	停止※1
注意	 緑色 (点灯)	なし	設定した 風量で運転	設定した 自動首振りで運転
警戒	 黄色 (点灯)	なし	設定した 風量で運転	設定した 自動首振りで運転
嚴重警戒	 赤色 (点灯)	30秒ごとに ピー音	自動的に 風量「5」で運転 (風量設定変更可)	設定した 自動首振りで運転
危険	 紫色 (点灯)	1秒ごとに ピー音	自動的に 風量「5」で運転 (風量設定変更可)	自動的に上下左右 自動首振りで運転 (自動首振り設定変更可)

※1 警戒アラートが「ほぼ安全」のときは、運転が停止するようになっていますが、電源を入れたときのみ「ほぼ安全」でも運転をおこないます。
警戒アラートが一度「警戒」以上になってから「ほぼ安全」になると、運転を停止します。
運転開始後、警戒アラートが「ほぼ安全」または「注意」を維持しているときは、そのまま運転を継続します。

お知らせ

- 警戒アラートが「嚴重警戒」または「危険」になると、自動的に風量「5」で運転します。このとき風量の設定を変更することができますが、「危険」から「嚴重警戒」になったときは再度自動的に風量「5」で運転し、「警戒」以下になると危険時に設定変更した風量で運転します。
- 警戒アラートが「危険」になると、自動的に上下左右自動首振り運転が設定されます。このとき警戒アラートが「嚴重警戒」以下になっても、上下左右自動首振り運転が継続されますので、解除したいときは各首振りボタンを押すと解除できます。

使いかた

運転する（熱中症警戒運転） つづき

熱中症警戒運転を解除するときは



熱中症
警戒



- 運転中に熱中症警戒ボタンを押します。
- 「ピッ」と音が鳴り、熱中症警戒運転が解除されます。
- もう一度熱中症警戒ボタンを押すと、熱中症警戒運転が再度設定されます。

熱中症警戒運転を解除したときの運転内容

熱中症警戒運転を解除しても、警戒アラートが「**嚴重警戒**」または「**危険**」になると、アラート表示をおこないます。

警戒アラート	アラート表示	アラート音	風量	自動首振り運転 (設定時)
嚴重警戒	 赤色 (点灯)	なし	設定した 風量で運転	設定した 自動首振りで運転
危険	 紫色 (点灯)	なし	設定した 風量で運転	設定した 自動首振りで運転

- 警戒アラートが「ほぼ安全」、「注意」、「警戒」のとき：アラート表示はしません。

風量を設定する



- 運転中に風量ボタンを押します。
- ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、風量が下記のように順送りでかわります。
- 風量ランプを見ながら設定します。



お知らせ

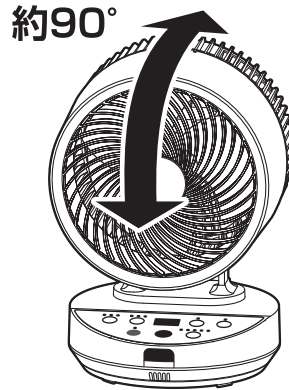
- 風量によっては、共振音がすることがありますが、異常ではありません。

使いかた

上下自動首振り運転を設定する



- 運転中に上下首振りボタンを押します。
- 「ピッ」と音が鳴り、上下首振りランプが点灯し、上下自動首振り運転が設定されます。
- もう一度上下首振りボタンを押すと、上下自動首振り運転が解除されます。



約90°の範囲で
上下自動首振り運転をします。

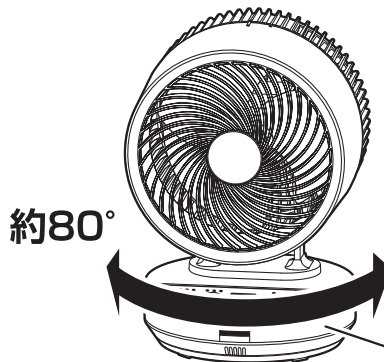
首振り機能について

- 首振り機構は、首振りモーターとその他連結部品で構成されており、首振り運転中に首振りモーターの回転音やギア音などがすることがありますが、異常ではありません。
※異常と思われる音がするときは、販売店やお客様サービス係に相談してください。

左右自動首振り運転を設定する



- 運転中に左右首振りボタンを押します。
- 「ピッ」と音が鳴り、左右首振りランプが点灯し、左右自動首振り運転が設定されます。
- もう一度左右首振りボタンを押すと、左右自動首振り運転が解除されます。



約80°の範囲で
左右自動首振り運転をします。

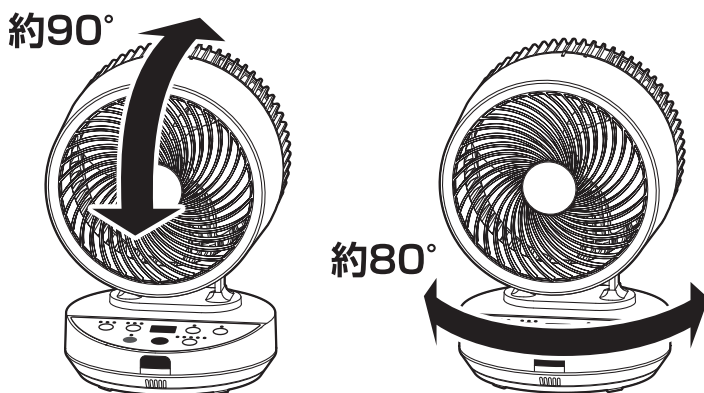
本体が回転します。

使いかた

上下左右自動首振り運転を設定する



- 運転中に、上下首振りボタンと左右首振りボタンを押します。
- 「ピッ」と音が鳴り、上下首振りランプと左右首振りランプが点灯し、上下左右自動首振り運転が設定されます。
- 各ボタンをもう一度押すと、上下左右自動首振り運転が解除されます。



上下約90°+左右約80°の範囲で自動首振り運転をします。

切タイマーを設定する

■ 設定時間が経過すると運転を停止します



- 運転中に切タイマーボタンを押します。
ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、切タイマー時間が下記のように順送りでかわります。
- 切タイマーランプを見ながら設定します。



- 時間が経過すると切タイマーランプがかわり、運転停止までの残り時間を表示します。
- 風量は「1」～「5」に設定できます。
- 上下自動首振り運転、左右自動首振り運転を同時に設定することができます。

お知らせ

- 温度センサー運転を設定中は、切タイマーを設定することはできません。
※切タイマーを設定するときは、温度センサー運転を解除してください。

使いかた

温度を設定する（温度センサー運転）

温度を設定すると、室温に応じて自動で運転や停止をする温度センサー運転をおこないます。



センサーで感知した室温が設定温度以上になると運転し、設定温度以下になると運転を停止します。

エアコンと併用して、効率よくお部屋の空気（冷気や暖気）を循環させる便利な使いかたができます。

- 運転中または電源切時に、温度ボタンを押します。
ボタンを押すごとに「ピッ」と音が鳴り、温度が下記のように順送りでかわります。
- 温度ランプを見ながら設定します。



- 温度を設定すると、自動的に風量「1」が設定されます。
風量は「1」～「5」に設定をかえることができます。
- 上下自動首振り運転、左右自動首振り運転を同時に設定することができます。

お知らせ

- 電源切時に温度ボタンを押すと、電源が入り温度の設定ができますが、電源切時も熱中症危険度の判定をおこなっており、「嚴重警戒」または「危険」と判定しているときは、温度ボタンの操作を受けつけなくなるため電源が入りません。
このようなときは、電源ボタンを押して電源を入れ、警戒アラートが「警戒」以下になってから温度ボタンを押して温度を設定します。
- 切タイマー設定中は、温度センサー運転を設定することはできません。
※温度センサー運転を設定するときは、切タイマーを解除してください。
- 上下自動首振り運転、左右自動首振り運転を設定中に温度センサー運転を設定すると、各自動首振り運転が解除されます。
必要なときは、各首振りボタンを押して設定します。

設定例 温度を28℃に設定した場合

- 温度を「28℃」に設定し、風量を「1」～「5」のいずれかに設定します。
- 上下自動首振り運転、左右自動首振り運転を設定するときは、各首振りボタンを押します。
〔28℃で設定したときの動作内容は、下記のとおりです〕

温度ランプ 24 26 28 ○ ○ ● (28℃のランプが点灯)	表示部に表示されている室温					
	25℃	26℃	27℃	28℃	29℃	30℃
	← 停止			→ 運転		






- 温度を28℃に設定したとき、表示部に表示されている室温が28℃以上になると運転し、27℃以下になると運転を停止します。
- 温度センサー運転を解除するまで、上記の動作を繰り返します。

使いかた

温度を設定する（温度センサー運転） つづき

温度センサー運転と熱中症警戒運転を同時に設定したときは、警戒アラートの段階によって、運転内容が変わります。

温度センサー運転と熱中症警戒運転を同時に設定したときの運転内容

警戒アラート	アラート表示	アラート音	温度センサー運転 (温度設定)	風量	自動首振り運転 (設定時)
ほぼ安全	 青色 (点灯)	なし	温度センサー 運転優先	設定した 風量で運転	設定した 自動首振りで運転
注意	 緑色 (点灯)	なし	温度センサー 運転優先	設定した 風量で運転	設定した 自動首振りで運転
警戒	 黄色 (点灯)	なし	温度センサー 運転優先	設定した 風量で運転	設定した 自動首振りで運転
嚴重警戒	 赤色 (点灯)	30秒ごとに ピー音	※1 熱中症警戒 運転優先	自動的に 風量「5」で 運転 (風量設定変更可)	設定した 自動首振りで運転
危険	 紫色 (点灯)	1秒ごとに ピー音	※1 熱中症警戒 運転優先	自動的に 風量「5」で 運転 (風量設定変更可)	自動的に上下左右 自動首振りで運転 (自動首振り設定変更可)

※1 警戒アラートが「嚴重警戒」または「危険」になると、熱中症警戒運転が優先されます。熱中症警戒運転が優先されているときは、温度ランプが消灯し温度ボタンの操作を受けつけなくなります。

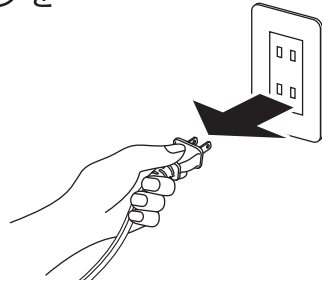
お知らせ

- 熱中症警戒運転は、電源を入れると同時に毎回自動的に設定されます。温度センサー運転のみで運転したいときは、熱中症警戒運転を解除してください。

使いかた

使用後は

- 電源ボタンを押して運転が停止してから、電源プラグをコンセントから抜きます。



お手入れと保管

モーター部、ガード、羽根にほこりが多量に付着すると異常音、振動、モーターの過熱の原因になります。

※こまめに前ガードや羽根を取りはずし、お手入れをしてください。

警告



プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

- けが・ショート・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ショート・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- ショート・感電・火災の原因になります。

注意



禁止

掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

- 変色・変質・破損の原因になります。



禁止

お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

- 変色・変質・破損の原因になります。

必ずお守りください

※前ガードや羽根を取りはずすときは、前ガードを正面に向けておこなってください。（無理に正面に向けない）

上下の向きをかえるときは、上下自動首振り運転をして正面に向けてください。

左右の向きをかえるときは、左右自動首振り運転をして正面に向けてください。

※お手入れのときは、けがをしないようにゴム手袋を着用してください。

お手入れと保管

※取りはずしの際は、けがをしないように十分注意してください。

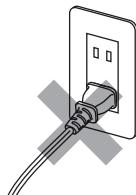
警告



取りはずしや組み立てのときに、電源プラグをコンセントに差し込まない

禁止

- 意図せず運転して、破損・けがの原因になります。

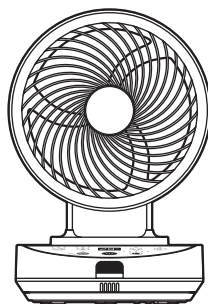


電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れをしない。

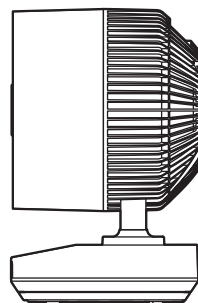
前ガードを取りはずす

- 右図のように、前ガードを正面に向けます。

前ガードを正面に向けた状態



〔正面から見た図〕



〔真横から見た図〕

- 前ガードを左に回し、手前に引いて取りはずします。

後ガードの「■」マーク (刻印)

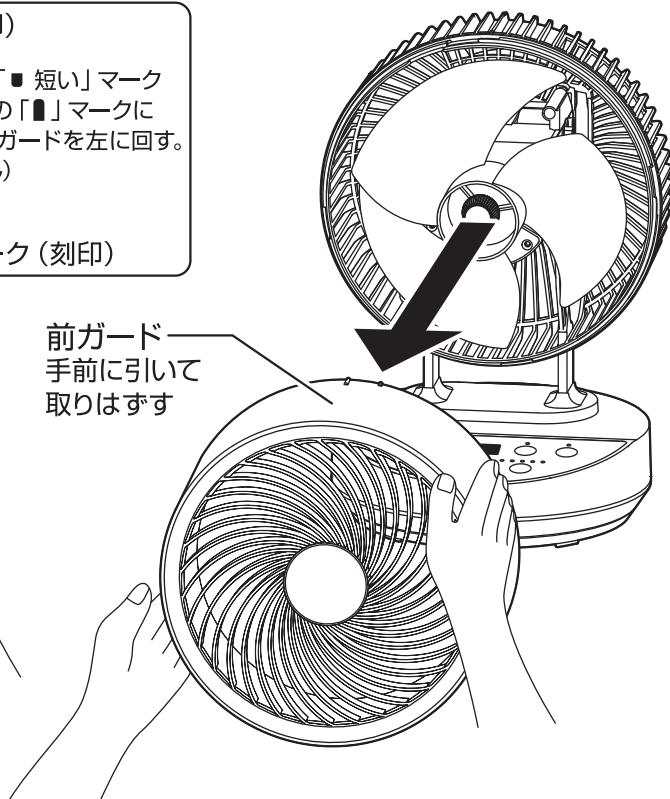
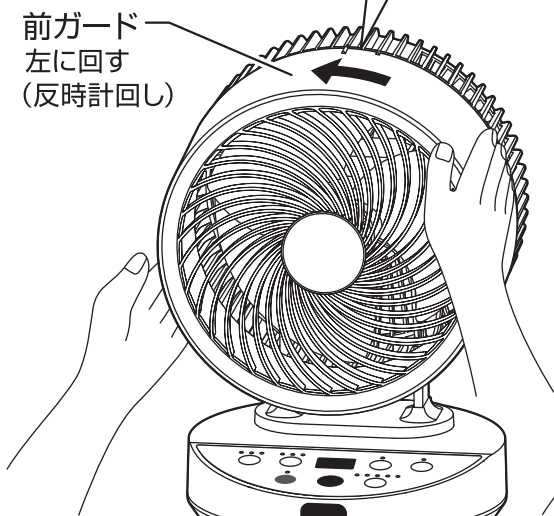


前ガードの「■ 短い」マークが後ガードの「■」マークに合うまで前ガードを左に回す。(反時計回し)

前ガードの「■ 短い」マーク (刻印)

前ガード
左に回す
(反時計回し)

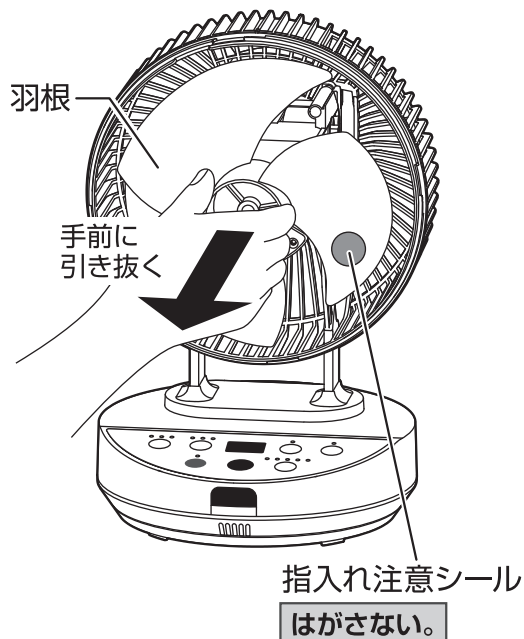
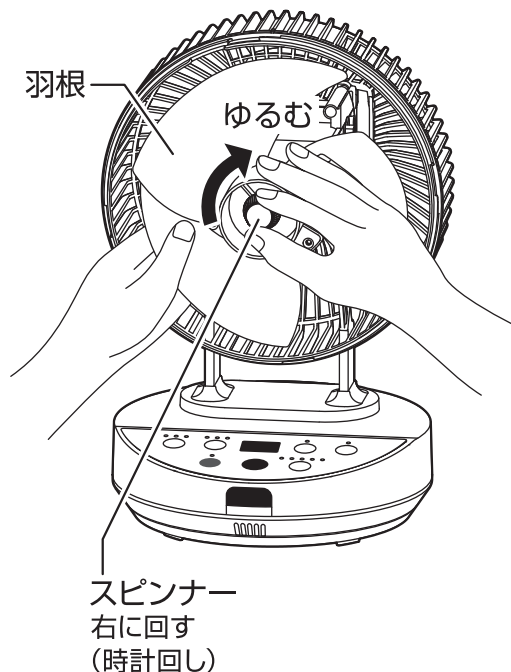
前ガード
手前に引いて
取りはずす



お手入れと保管

羽根を取りはずす

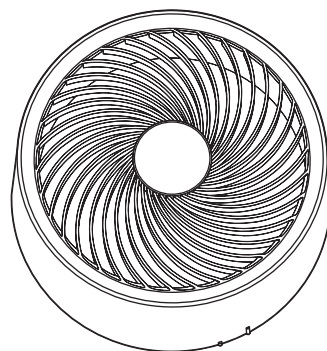
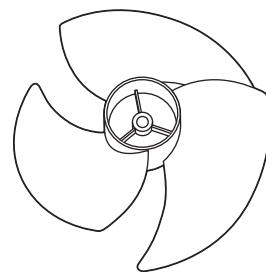
- 羽根を持ちながら、スピナーを右に回して取りはずします。
- 羽根をモーター軸から引き抜きます。



- 指入れ注意シールの貼り位置は、上図の限りではありません。

前ガード、羽根のお手入れ

- 掃除機のソフトブラシで、ほこりを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水やぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



お手入れと保管

本体、後ガードのお手入れ

- 掃除機のソフトブラシで、ほこりを吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水やぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

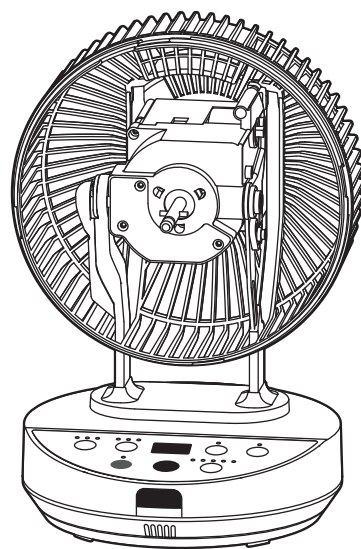
注意

※モーター軸などでけがをしないように、十分注意してください。

お知らせ

●後ガードは、取りはずしできません。

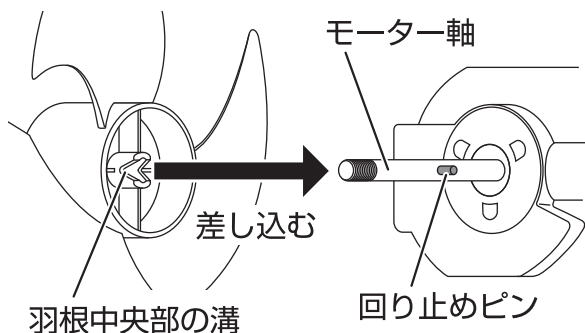
※お手入れ後は、次項の「羽根の組み立て」、「前ガードの組み立て」を参照して、羽根、前ガードの順に確実に組み立ててください。



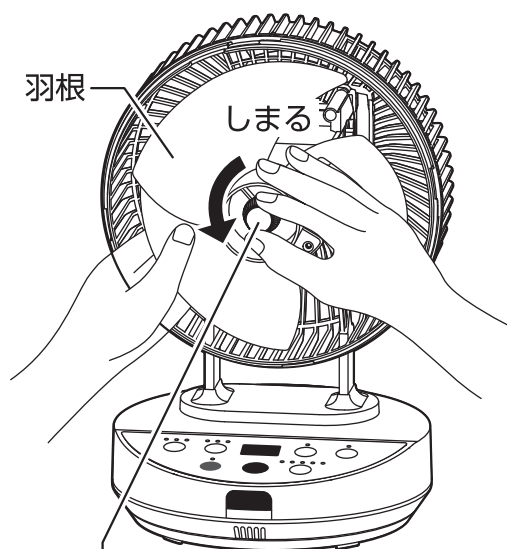
羽根の組み立て

- 羽根をモーター軸に差し込みます。
- 羽根を持ちながら、スピナーを左に回して締めつけ、羽根を固定します。

羽根は、差し込む向きがあります。
羽根中央部の溝がある側をモーター軸に向けて差し込んでください。



羽根中央部の溝を、モーター軸の回り止めピンに合わせて差し込み、かみ合わせます。



スピナー
左に回す(反時計回し)

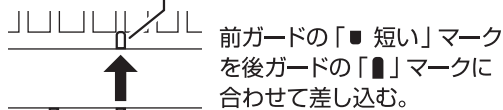
ネジ山に注意し、傾きのないよう確実に締めつける。

お手入れと保管

前ガードの組み立て

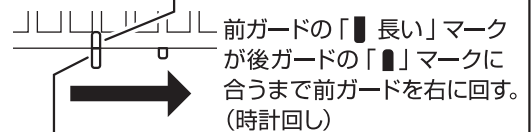
- 前ガードを後ガードに差し込みます。
 - 前ガードを右に回して固定します。
- ※前ガードが確実に差し込まれていないと、前ガードが回らず取り付けられませんので、確実に差し込んでください。

後ガードの「■」マーク (刻印)



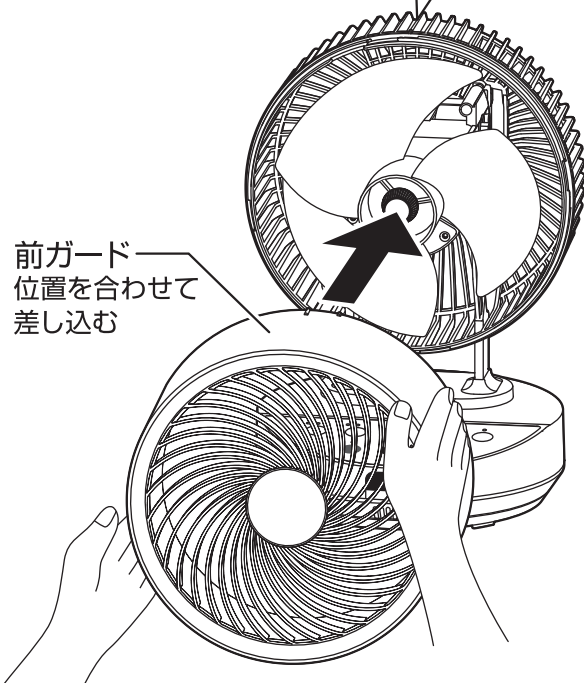
前ガードの「■ 短い」マーク (刻印)

後ガードの「■」マーク (刻印)

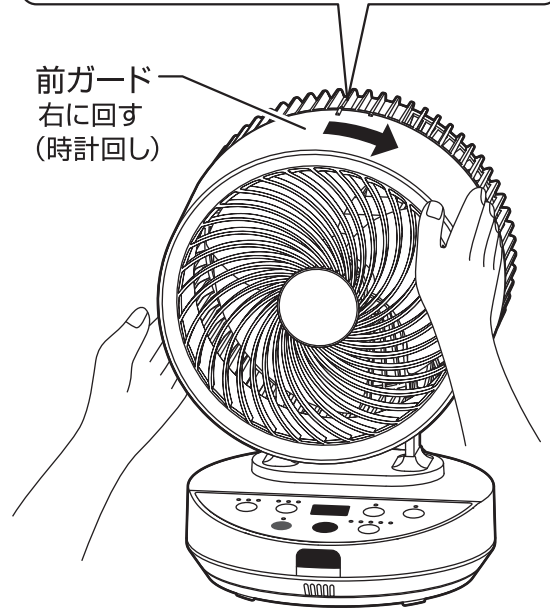


前ガードの「■ 長い」マーク (刻印)

前ガード
位置を合わせて
差し込む



前ガード
右に回す
(時計回し)



保 管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させ包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。(湿ったまま保管するとカビの発生、異臭、故障の原因になります)

お願い

※リモコンは、電池を取り出してから保管してください。
※電源コードの根元を曲げたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕 様

電 源	AC 100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	21W
製 品 寸 法(約)	幅:225mm×奥行:210mm (225mm) ×高さ:325mm (315mm) 上向き時 上向き時
製 品 質 量(約)	2.3kg
首振り角度(約)	上下自動首振り:90° 左右自動首振り:80°
コ ー ド 長(約)	1.6m

- 本体内部でDCに変換しています。
- 製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理をご依頼される前に、下記をご確認ください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
運転しない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	● 電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込んでください。
運転が途中で止まる	● 警戒アラートが「ほぼ安全」になっていませんか？	● 警戒アラートが「ほぼ安全」のときは、運転が停止します。 警戒アラートが一度「警戒」以上になってから「ほぼ安全」になると、運転を停止します。
	● 温度センサー運転を設定していませんか？	● 温度センサー運転を設定すると、室温に応じて自動で運転や停止をおこないます。
勝手に風量が変わり、上下左右自動首振り運転をする	● 警戒アラートが「嚴重警戒」または「危険」になっていませんか？	● 警戒アラートが「嚴重警戒」になると、自動的に風量「5」で運転します。 警戒アラートが「危険」になると、自動的に風量「5」で、上下左右自動首振り運転をおこないます。
風量が弱い	● 羽根を逆向きに組み立てていませんか？	● 19ページの「羽根の組み立て」を参照して、羽根を正しく組み立ててください。
異常な音や振動がある	● 前ガードが確実に組み立てられていますか？	● 20ページの「前ガードの組み立て」を参照して、前ガードを正しく組み立ててください。
モーター部が異常に熱い	● 羽根、ガード、モーター部にほこりがたまっていませんか？	● 掃除機でほこりを吸い取り、お手入れしてください。
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していたり、電池の向きが間違っていたり、障害物がありませんか？	● 6ページの「リモコンの準備」を参照して、新しい電池に交換するか、電池を正しい向きに入れなおしてください。
		● リモコン送信部とリモコン受信部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
表示部に「E1」、「E2」、「E3」のいずれかが表示される	● センサーが故障しています。	● お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

長期使用製品についてのご注意

長年使用の製品は、熱、湿気、ほこりなどの影響により内部部品が劣化し、発煙・火災のおそれがあります。

使用中に次のような症状がみられる場合は、スイッチを切りコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または本書記載の「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音や振動がする。(摩擦音、接触音、打音などがしたり、羽根がブレて振動しているなどの状況)
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかつたりと不安定。

異常があれば使用中止!!

すぐにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は、下記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

環境条件	電 圧	AC 100V
	周 波 数	50/60 Hz
	温 度	30℃
	湿 度	65%
	設 置	本書に基づく組み立ておよび設置
負荷条件	本製品の最大定格での運転	
想定時間	運 転 時 間	8h/日
	運 転 回 数	5回/日
	運 転 日 数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐに使用をやめ、販売店もしくは「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載いたしております。

アフターサービスについて

- 本製品は、保証書が付いています。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。保証書の記載内容により、修理いたします。その他詳細は、保証書を参照してください。
- 保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店に依頼してください。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツについて
羽根などのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでの
お問い合わせは  0120-680-287

●Eメールでの
お問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

個人情報取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

S-211116